THE Y'S MEN'S CLUB OF KOBE PORT

KOBE PORT

THE SERVICE CLUB TO THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Chartered May 8, 1988
神戸ポートワイズメンズクラブ
〒650-0001 神戸市中央区加納町 2-7-11
神戸 YMCA 内
Tel 078-241-7204
Fax 078-241-3619
E-Mail:houshi@kobeYMCA.org
http://www.kobeYMCA.org/

第 1 例会第 4 水曜日 18:30-20:30
第 2 例会第 1 木曜日 19:00-20:30

第 408 号
2021 年 12 月

会長(C P)宮内伸浩「メンバーを知ろう、活動を知ろう」 "Let's get to know the members and our activities."

国際会長(IP)Kim Sang -chae(Korea)
Theme: "Y's Men with the World"(世界とともにワイズメン) Slogan: "Heal the World"(愛と尊厳で世界を癒そう)
アジア太平洋地域会長(AP)大野 勉(JWR)
Theme: "Make a difference beyond the 100th" 「100年を超えて変革しよう」 Slogan: "Be healthy!"(健康第一！)
西日本区理事(RD)主題・スローガン：新山兼司(京都トップス)
テーマ： "Challenges for the future"(未来への挑戦)「羽ばたこう！2022年ワイズ100周年に向かって」
六甲部部長(DG)大野智恵(神戸ポート)
「寄り添い、分かち合い、『三方よしでみんな笑顔』 "Snuggle up and share with you "Smile on each side"

12 月強調月間 HI(ヒストリアン)・CE(キリスト教理解)

お互いに共に愛し合い、奉仕しましょう。」ワイズの活動は、愛をもって奉仕活動をすることです。
奉仕される人を思いやり、寄り添い、活動しましょう。川口 恵 クリスチャニティー委員長（名古屋）
2022 年はワイズメンズクラブ国際協会の創立 100 年です。先人に思いをはせるとともに、
新たなヒストリーを築いていきましょう。 濱田 勉ヒストリアン（奈良）

＜12 月第 1 例会＞

今年もクリスマスを迎えられることに感謝します。
静かな聖なる夜に、あなたを思い、自分を顧み、明日の平和を願い、みなと集えることに感謝いたします。

＜記＞

- 日時：12 月 10 日(水)18:30～21:00
- 場所：神戸三宮 YMCA 会館＆CAFE&BAR まどゐ
- ドライバー： 大野勉ﾜｲｽﾞ・園田ﾜｲｽﾞ
- 第 1 部：特養オリンピアとの合同クリスマス会
- 聖句・祈祷：山口光ﾁｬﾌﾟﾚﾝ
  神戸ポートクラブから歌のプレゼント
- 第 2 部：「CAFE&BAR まどゐ」にて懇親会
- 諸連絡、YMCA 報告
- 今月のお誕生日、ニコニコ、今月の歌
- 閉会点鐘：山田滋己直前会長

HAPPY BIRTHDAY!

12 月 3 日：山田貴子ﾒﾈｯﾄ 24 日：山田滋己ﾜｲｽﾞ

＜2021-2022年度のファンド・累計＞

	11月	累計
ニコニコ	15,000円	39,401円
物品販売	7,000円	7,000円
じゃがいも	0円	0円
新玉ねぎ	0円	0円
合 計		46,401円

＜11 月出席状況＞

出席率：82.4%(出席数)14/17(出席率対象会員数)
充足率：86.4%(メン13名,ゲスト＆ビジター6名)

＜今後の主な予定＞

＜12 月第 1 例会＞クリスマス例会
12 月 10 日(金)18:30～21:00YMCA 会館＆まどゐ
特養オリンピアと交流＆懇親会
＜12 月第 2 例会＞
12 月 2 日(木)19:00～20:20 YMCA 会館＆ZOOM
＜1 月第 2 例会＞
1 月 6 日 (木) 19:00～20:20 YMCA 会館＆ZOOM
＜1 月第 1 例会＞
1 月 26 日(水)18:30～20:20 YMCA 会館＆ZOOM

＜ 2021 年 12 月の聖句＞

以上全てを証しする方が、言われる。「然り、わたしはすぐに来る」アーメン、主イエスよ、来てください。主イエスの恵みが、全ての者とあるように。 ヨハネの黙示録 22：20－21

2021―2022 年度クラブ役員
【会長】宮内伸浩【副会長】中山迅一【直前会長】山田滋己【書記】中山迅一【会計】丹羽和子、小田浩、手塚貴子【監事】水野雄二【担当主事】松田道子

閑話休題まで（会長メッセージ）　会長　　宮内　伸浩

会長メッセージも6回目、折り返しまで来ました。そこで（なにが“そこで”なのか分かりませんが）今回はクラブに直接関係しない気楽なお話でお茶を濁します。

若い頃、学生の頃でしょうか、私は「筋」という概念が理解できませんでした。「そうするのが筋だ」「それは筋ではないから考え直せ」という時の「筋」です。「筋を通せ」の「筋」ならまだ分かります。一貫性という意味だと思います。しかし、前者はどうしても分かりませんでした。私の父方の伯父は大蔵官僚でした。私の発言を「それは筋ではないよ」の一言で否定することがありました。しかし私にはさっぱり分かりません。なぜそれが筋ではないのか、どうすることが筋なのか。分からなさは自分の世間常識の欠如に起因するのだろうが、じゃあその世間常識はどのような手蔓で手繰り寄せたらよいのか、さっぱり分かりません。若かった私は正直焦りました。身に歳月が積み重なった今となれば、伯父が言っていた筋の正体が分かります。それは彼の住んだ関係世界、政界、財界、官界のしがらみの中で長年の間に敷かれた思考ベクトル、その中で生き抜くために彼が身に着けた思考ベクトルにほかなりません。こう考え、こう進めれば抵抗なく、有力者の顔も立てながら事が進む、というノウハウです。ノウハウと言ってしまえば、ずいぶん軽くなって、気が楽になりますね。そういえば、伯父はいろんなものを類型に嵌めて、決めつけていました。「お前は文系だろ」。いくら進路が文系でも、数学的な思考もできます。確かに国の政策を立案する場合、マクロな視点から、類型で区切ることも必要なことは分かります。しかし甥を見るミクロな視点にまで持ち込んじゃ、往生します。閑話休題。次月はもっとまじめに。

（「閑話休題まで」、漱石「彼岸過迄」を気取ったわけではありません）

＜今月の聖句について＞

「初めに、神は天地を創造された。」で始まった旧約聖書の言葉は、新約聖書の言葉「アーメン、主イエスよ、来てください。」で締めくくられています。二つの言葉の間には、神の前に生きた人間の苦しみ、悲しみや喜びが綴られ、そこにインマヌエル「神は我々と共におられる」という言葉が通奏低音のように響き続けています。

アメリカのフォークソングシンガーのジョーン・バエズが歌う「クンバイヤ」という歌があります。クンバイヤ、

これはcome by hereのなまったものだそうです。彼女は戦争、自然破壊に始まる様々な悪を告発しつつ、そこに生きるものとして、主よ、どうかここに来てくださいと歌わずにはおれなかったのです。

2021年のクリスマス、私たちも「クンバイヤ」と歌いながら感謝のうちに迎えることができますように。　丹羽和子

＜11月第１例会報告＞

日時：11月24日（水）19:00～20:20

場所：神戸YMCA（対面）とZOOM

メンバースピーチ第4弾となる11月は、井内朋博ﾜｲｽﾞと小田浩ﾜｲｽﾞが担当。

井内朋博ﾜｲｽﾞは、「改めて自己紹介（仕事、ワイズ活動について）」という題で、高校卒業から現在のワイズ活動に至るお話だった。まず、高校卒業後、姫路YMCA予備校に通った時の山田滋己ﾜｲｽﾞ、そして八杉光春ﾜｲｽﾞ（姫路ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ）との出逢い。その後大学進学、大学卒業後の建築会社での働きは多忙を極める日々であったこと。転勤が多く単身赴任が続き、家族との時間も大切にしたく、35歳にまず初めの転職をしたこと。その後20年勤務した2つ目の会社から今年6月に新たな挑戦をし、2度目の転職をしたとのこと。

建築会社の業務はとても専門的でただただスケールの大きさ、綿密さに驚いた。6月からは大分県別府市、福井県あわら市と勤務先が変わりつつ自炊生活も慣れて来た。

現在、施工管理業務をなしており、現場を離れて週末の時間も取りやすくなり、充実した私生活も過ごせている。とりわけ山歩き活動を笑声で語る井内ﾜｲｽﾞはキラキラ輝いていた。趣味のマラソンを通じての大野勉ﾜｲｽﾞとの出会い、折りづるランに同行、山田滋己ﾜｲｽﾞの存在を聞いたこと等が重なり、ワイズ入会に至った。人と人との縁がいろいろなところで繋がっていることを感じさせられた話だった。

ワイズ入会後は、様々な担当を担いつつ、2017-2018に会長も務め、貴重な経験が今あることを、そして忙しいながらも人との繋がりを大切にしながらワイズ活動を継続していく素晴らしさが伝わった。

続いて、小田浩ﾜｲｽﾞからは「80年をふりかえり今思うこと」と題して、生まれた時代から退職するまでの時代背景からの様々な想いを聴いた。模造紙4枚にわたり歴史や出来事が記し、それらを読みながらの小田ﾜｲｽﾞの話は当時の情景を思い浮かべることができた。高校では元YMCA理事長の英語授業も受講。長年勤務した50%外資のアルミメーカーを定年退職した後、プライベートでも海外の旅が続き、時に海外のYMCAの訪問もした。大きく時代が変化する中での小田ﾜｲｽﾞの人生は語り尽くせないほどの知識や経験が蓄積されていることが伺えた。小田ﾜｲｽﾞのお話の端々にも人と人とのつながりが感じられ、国内外に多くの知人があることもあらためて納得した。短い時間だったが小田ﾜｲｽﾞの80年の歴史の深さに触れた。現在、神戸ポートクラブの主導で、六甲部&神戸YMCAで国際協力募金ファンド「Y-森のコーヒー」を取り扱っているが、これは、小田ﾜｲｽﾞが情報を得て、チェンライクラブ&チェンライYMCAと丁寧に繋げたことで実現した。コロナ収束後に小田ﾜｲｽﾞ引率のもと、コーヒー豆を生産されているタイ北部チェンライ県にあるパヒ村を訪問予

定である。

12 月第２例会記録(抜粋)

1. 日時:2021 年 12 月 2 日(木)19:00-20:20
2. 場所:YMCA 会館[対面]、自宅他[遠隔]
3. 出席者:大野勉、大野智、小田、郡、松田、水野、細見、宮内８名
欠席者: 井内、井上、小合瀬、園田、民谷、中山、丹羽、宮野、山田９名
4. 内容:
(1)11 月第１例会
・日時:2021/11/24(水)18:30-20:20
・場所:YMCA 会館[対面]、自宅他[遠隔]
・出席者:
メンバー大野智、大野勉、小田、郡、園田、中山、松田、水野、山田[対面]
井内、宮内[遠隔]　11 名
ゲストオリンピア谷口様　　1 名
・欠席者:井上、小合瀬、民谷、丹羽、細見、宮野６名
・出席率:11＋メーキャップ 2(井上、細見)＝13÷17 名(出席率対象会員数)=76.5%
・充足率:12÷22 名(在籍数)＝54.5%
・内容:メンバー卓話：井内ﾜｲｽﾞ、小田ﾜｲｽﾞ(既掲載)
(2)11 月度活動報告
・11/1(月)18:30-20:30 六甲部デジタル小委員会
大野勉、大野智、宮内
・11/10（水）六甲部キャビネット会議
大野勉、大野智、松田、水野、山田
・11/16（火）東京むかでクラブ例会
・11/20（土）瀬戸山陰部部会
大野智、大野勉、小田（以上日帰り）園田、山田
・11/26（金）石巻広域クラブ例会：大野勉
・11/23（火）
チャリティーラン
11:00 記念植樹式
井上、大野勉、大野智、
水野、松田、宮内、山田

(3)12-1 月のクラブ例会
・12 月第１例会: 12/10(金)
18:30-19:10、特養オリンピア
クリスマス会リモート参加
19:30-21:00 懇親会

・12 月第２ 例会:12/2(木) 19:00-20:20：対面開催
・1 月第１例会: 1/26(水)　18:30-20:20
メンバー卓話、小合瀬、園田
ドライバー、山田
・1 月第２ 例会:1/6（木）19:00-20:20
ハイブリッド開催
(4)今後の予定、他クラブ例会等
・12/4(土)19:00- 六甲部交流委員会：小田
・12/6(月)18:30-20:30 六甲部デジタル小委員会
〃　　ランドセルプロジェクト
・12/11（土）石巻広域クラブ例会 16:00-18:00
・12/17（金）東京世田谷クラブ例会
石巻川上牧師の卓話　詳細、山田さん確認
・12/18（土）14:00-15:40 宝塚クラブ
第 17 回チャリティー市民クリスマス
・12/18（土）18:00- 西宮クラブクリスマス例会
・1/15(土)阪和部新年合同例会 12:00-14:30
・1/22(土)六甲部新年合同例会 16:00-18:30
@須磨温泉寿楼臨水亭
(5)協議課題
・国際メネット献金について
例年、国内１万円・国際５千円である。
今期国内はなし、国際に５千円とする。
・次期会長　中山迅一ﾜｲｽﾞ
・過年度ロスター処分品収集
・チャリティーコンサート
＜準備進捗確認＞
(参考) 完了事項
・4 月 30 日開催聖愛教会予約済み
＜出演依頼済み＞
・ブルーグラス「鳩正宗」
・神戸山手女子中学高等学校マンドリン・ギター部 OG
＜出演依頼予定＞
・WAP トーンチャイム　←　大野智恵さん
・クラブＨＰ更新について
＜コンテンツ案検討＞
・「入会案内」⇒現在の「独自事業」のコンテンツをそのまま移動
・「例会写真集」⇒「クラブ Face book」とリンク
・「独自事業」⇒行事毎に項目を設け、ブリテンから抽出して掲載
・「資料」卓話者の許可のあった卓話資料を掲載
・「メンバーズルーム」継続
・古切手締切日程確認
１月第１例会、1/26（水）17:30～　切手整理

＜会員投稿＞

瀬戸山陰部第２０回部会参加報告　　園田将人

11 月 20 日(土)島根県松江市の由志園において、第 20 回瀬戸山陰部部会が米子クラブの主催で開催されました。現

地への往復は勿論、会場でも公的機関のガイドラインに従い、検温、手指の消毒、マスク着用の上、距離を空けかつアクリル板で仕切られる充分な感染対策を取りながら、約50名が参集し行われました。当クラブからも５名(大野勉、大野智恵、小田、山田、園田)が出席。部会は福永君二瀬戸山陰部部長の開会点鐘に始まり、水田美世さんによる「こどもの居場所づくりの意義」をテーマにした記念講演がありました。その後、イルミネーションに彩られた日本庭園での紅葉の鑑賞や記念写真を楽しみ、懇親・交流会の部では、大野勉アジア太平洋地域会長の乾杯を皮切りに、郷土料理や出雲そばを頂きながら各クラブとの交流が催されました。

翌21日(日)のエクスカーションでは、弓ヶ浜、本池美術館、美保関灯台、美保神社を訪れ、当地の素晴らしい自然や景色、歴史を感じることができ、昼食は、地元境港の回転寿司店で新鮮なお寿司を堪能しました。初日に昼食をとった大山付近では時雨模様でしたが、それ以外は天候に恵まれた２日間でした。私は入会して初めての他クラブ訪問で緊張もありましたが、多くの方々と出会え、心身ともに

リフレッシュした有意義な時間でした。

やっぱり高齢者は高齢者ですね　　宮内伸浩

先月に続き、まだ歩き方が完全ではありません。右足がピンコピンコした歩き方です。（この擬態表現、分かります？）特に階段を下るときに、左足が下の段に付いている時、股関節が柔軟に曲がらず、次の一歩がドスンドスンした降りかたになります。左足のアキレス腱に異常に体重が掛からないよう気を付けています。だから、山登りの話ができません。そしてもっとショッキングな出来事があったのです。私は、歯には自信がありました。60歳定年を機に、歯科検診を受けました。その時点での歯の治療歴は、小学校の低学年の時の、アマルガム詰め治療、中学１年同じく、最後が大学１年夏、19に成りたての同じ治療です。なんと40年歯医者にお世話になっていません。また40年ぶりの治療は、アマルガム劣化の補修だけ、虫歯もできていなかったのです。先日母親の治療に付き添ったのをきっかけに、歯科検診を５年ぶりに予約しました。そこで思いがけない結果に。ほんの軽いものとはいえ、なんと１３本の虫歯が見つかったのです。私の歯への自信が瓦解しました。今、初めの２本の治療を受けたところです。最近は白い詰め物で、ぱっと見、ほとんど分かりませんね。それ以上に、削られる時、ほぼ何も感じませんね。技術の進歩。変な感心は置いといて、計算していただければ分かりますが、今年65歳、高齢者の仲間入りをしました。途端に、これです。年は年です。過信を捨て、体いろいろな部位のケアを心掛けねばいけませんね。ご同輩。

神戸 YMCA レポート/ニュース

（1）11月11日、神戸YMCA高等学院のスポーツ大会が、神戸総合運動公園サブアリーナで行われました。学年対抗のバレーボール、バスケットボール試合は先生も参戦して、大いに盛りあがりました。秋晴れ中、駅からサブアリーナまでも楽しいウォーキングとなりました。

（2）11月23日、第23回神戸YMCA「インターナショナル・チャリティーラン」をしあわせの村で開催いたしました。昨年度中止であったため、2年ぶりとなりましたが、内容・時間・出店など大きく変更されました。コロナの感染状況がなかなか読めず、間際での広報発信となり、ご迷惑をおかけいたしました。当日は、秋晴れの下、参加者・ボランティアリーダー・ワイズメンズクラブ・スタッフ他全体でのべ約190名の方々が会場にお越しくださいました。オンラインで参加くださった方々も25名程おられ、新たな取り組みとなりました。実行委員会での評価を終えましたら、あらためてご報告させていただきます。ご協力・ご協賛をいただき、誠にありがとうございました。

（3）神戸YMCAサポートプログラム・大阪YMCAサポートクラス　25周年記念講演「主体的に生きていく力を育むために」を開催いたします。

日時：２０２２年２月１３日（日）13時～16時30分
会場：大阪YMCA会館（大阪市西区土佐堀1-5-6）
参加費：1,500円
申込方法：以下の特設ページからお申し込みください。
https://www.osk-ymca-intl.ed.jp/supportclass/25th_lecture/
（神戸YMCAのHP「募集・予告」からでも検索可能）
申込期間：すでに申込みが始まっております。定員150名に達し次第、受付が終了されます。

＜編集後記＞

15.

Teachings about Jesus:

In the beginning was the Word, and the Word was with God, and the Word was God. He was with God in the beginning. Through Him all things were made, and without Him nothing was made that has been made. In Him was life, and that life was the light of men. The Light shines in the darkness, and the darkness has not overcome it.

John 1, 1-5

収束まで３年はかかる（山中教授）と言われていたパンデミックですが、２年で収束の気配が感じられます。が、油断は禁物。どのような形で収束していくのか、見極めていきたいものです。日常を取り戻すために、日々の小さな変化に対して敏感にならないといけません。よき年を共に迎えましょう。Merry Xmas!